

## 平成18事業年度決算の概要について

山梨大学の平成18事業年度財務諸表などの決算関係資料が、文部科学大臣より承認されましたので、大学の財政状態や運営状況を広く知っていただくため、ここに公表いたします。

平成18事業年度は、山梨大学が法人化して3年目にあたり、6年間の第一期中期計画期間の前半が終了し、法人化後の実績が問われる時期でもありました。

教育面では、「大学教育研究開発センター」を中心として人間力の充実と基礎学力の向上に重点を置いた新しいカリキュラムを策定し、教養教育の充実を図るとともに、「キャリアセンター」の設置を決定し、キャリア教育の推進と進路支援の充実を図るほか、修学環境の整備などの事業を実施しました。

研究面では、知的財産経営戦略本部と研究協力課を包括する研究支援・社会連携部を新設し、外部資金獲得の体制を整えるとともに、学内公募型の戦略的プロジェクト経費による研究支援を継続して実施したほか、若手研究者を対象としたスタートアッププロジェクトの新設などにより、より多くの外部研究資金を獲得し、大型事業への展開や国内外の様々な賞の受賞に結びつけることができました。

診療面では、腫瘍センターの設置や、地域がん診療連携拠点病院の指定を受けてがん登録部門を新設するなど、病院機能の充実を図りました。さらに、全病棟のトイレ全面改修、4室の特別個室増設などアメニティーの改善に努め、セカンドオピニオン外来の開設、特別食メニューの開始により患者サービスの向上を図っています。また、病院の経営改善を継続して進め、職員の意識向上や細部に至る努力によって、健全な財務状況を維持しています。

地域貢献面では、大学が所有している人的・知的資源を用いた地域の活性化を積極的に推進しており、山梨県を始めとする11機関と包括連携協定を締結してきましたが、更に山梨市・山梨信用金庫と包括連携協定を締結しました。このような協力関係から、山梨県とは医療福祉・環境・教育の分野での地域・社会連合事業が、特別教育研究経費「地域社会連携融合プロジェクト」として認められ、さらに、都市エリア産学官連携促進事業「山梨くになかエリア分散型クリーンエネルギーシステムの構築」と科学技術振興調整費「ワイン人材生涯養成拠点」の大型2事業が、山梨県や関係団体企業との共同事業として開始しました。そのほか「社会連携コーディネーター」による企業への大学シーズの紹介、300以上の開放講義など、地域との連携に積極的に取り組んでいます。

このような取り組みによる財務諸表は、規程の一部改訂等により会計方針や財務諸表附属明細書の様式を一部変更したうえで、前年同様に貸借対照表、損益計算書など企業会計に準じた国立大学法人会計基準によって作成しています。

平成 18 事業年度財務諸表は別紙のとおりですが、その概要は、平成 19 年 3 月末の資産合計は約 568 億 1 千万円、負債合計は約 185 億 7 千万円、資本合計は約 382 億 4 千万円となっており、また、平成 18 年度経常収益合計は約 269 億 2 千万円、経常費用合計は約 254 億 6 千万円、経常利益は 14 億 6 千万円です。これに臨時損失△6 千万円、臨時利益 2 千万円、目的積立金取崩額 1 千万円を加えた当期総利益は約 14 億 4 千万円となっています。この当期総利益の要因は、国から承継された機器の減価償却相当額が耐用年数期間継続して利益となること、及び病院施設整備のための借入金償還額とその減価償却費の差が利益となることなど、会計ルールの変更や法人への移行に伴う特例的な会計処理によるものが大きく、これらを除いた実質的な利益は約 3 億 1 千万円となっています。この利益は、目的積立金として繰り越され、教育研究の質の向上や組織運営改善のために使用していく予定です。

山梨大学の主たる事業は、教育・研究・診療であり、事業の実施によって利益の獲得を目的とするものではありません。限られた経費を効率的に執行しながら、教育研究活動の発展強化を図るとともに、学生の修学環境の整備充実や地域貢献事業などにも充ててまいりました。今後も財政状況はますます厳しくなるものと予想されますが、中期目標・中期計画の達成に向け、外部資金の獲得など自己収入の確保を図りながら、一層の経費節減や事業の見直し・効率化などを継続して進め、教育研究活動の充実・発展に努めるとともに、その成果を活かした地域貢献を進めてまいります。

公表にあたり、ご支援いただいた関係各機関や地域の皆様に感謝申し上げますとともに、山梨大学が、地域から強く支持され、キャッチフレーズである「地域の中核 世界の人材」を実現するための活動を行ってまいりますので、引き続きご支援をお願いいたします。

平成 19 年 9 月 12 日

国立大学法人山梨大学 学長 貫 井 英 明